

活動報告

団体名	NPO 法人 OneField
活動名	仮設住宅コミュニティ支援、ふれあい移動動物園による被災者の心のケア事業
活動期間	2016年8月～2017年9月
活動の成果	<p>被災地の仮設住宅を中心に、西原村・益城町・御船町・大津町・嘉島町・甲佐町の6町村9か所にてふれあい移動動物園を実施した。九州各県から飼育員・獣医師のボランティアが集まり、ボランティア協力されたスタッフの数も延べ180名を超えた。</p> <p>参加者は平均100名延べ960名弱だった。仮設住宅の敷地内や集会所、仮設に近い公園や公民館・学校施設をお借りして開催。ささえあいセンターのスタッフの皆様にもご協力頂き、みなし仮設の方々や自宅に引きこもりがちな高齢者の方々にも広くお声かけ頂いた。毎回晴天に恵まれたお陰もあり、日頃サロン活動にほとんど参加されない高齢者の方々が動物を見に出てきてくださったことは本当にうれしい事だった。また、近隣の保育園や幼稚園、小学校にも案内をし、子供達が仮設を訪れるきっかけになる「ふれあい移動動物園」でもあった。仮設の方からは「こんなにたくさんの子供の声がするのは久しぶり。賑やかでつい外に出たくなる」とおっしゃられる方が多くいらっしゃった。スタッフ・ボランティア・参加者、みんなの笑顔があふれる活動だった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震から3か月が経とうとしていた時、九州のある動物園から「熊本の被災地で何かお役に立てることはないか、熊本の皆さんの力になりたい、と多くの動物園や水族館の飼育員さんから要望が上がっている。」という相談がありました。当団体の理事が熊本市動植物園で以前飼育員をしていたことでつながったご縁。そこから始まったのがこの活動でした。</p> <p>それから私達はすぐに行動へと移し、九州各県の飼育員や獣医師が所属する「九州沖縄ブロック動物園水族館獣医師臨床研究会」や「九州沖縄動物園水族館飼育技術者の会」と連携し、活動を開始しました。熊本のボランティアスタッフ・当法人のスタッフの中にも地震で被災したり、怖い辛い思いからストレスを抱えている人がいましたが、だからこそ被災者の方々に少しでも寄り添う活動がしたい、心のケアに貢献できるなら、との思いから実施してきました。毎回この活動に、九州の全県からスペシャリストの飼育員や獣医師の有志が快く参加して下さいました。動物の持つ力を日頃から感じている皆さんの大きな協力があったからこそ、この活動を安全に楽しく継続して実施できたと思っています。この活動を通して被災地の皆さんの笑顔に出会うことができ、また私たちスタッフも被災地の皆様の笑顔から力をもらうことが出来ました。プロの飼育員・獣医師のスタッフも動物の持つ癒しの力の大きさを再認識させられた、と感じる素晴らしい活動でした。</p> <p>これからも様々な方面から支援を受けながら、この活動は継続して行こうと思っています。</p> <p>ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

